

NACS-J

第9回自然観察指導員全国大会・2020大阪

「だれ一人とりのこさない
自然観察会」をめざそう

2020年1月25日 佐野由輝

プロフィール

佐野由輝（さのゆうき）

香川県小豆島出身、千葉県在住
4人家族（妻、息子（大1）、娘（中3））

- ・ 自然観察指導員（1998年講習会）
- ・ NPO法人イクメンクラブ
- ・ NPO法人グリーンパパプロジェクト
- ・ NPO法人ファザーリング・ジャパン

子どもの自然体験の減少

- ・海や川で泳がなくなった
- ・朝日や夕日を見なくなった
- ・チョウやバッタなどの昆虫を捕まえなくなった
- ・鳥を見たり鳥の声を聴かなくなった

- 高2と中2の間の比較
- 単に身の回りに自然が少なくなっただけではない
- 自然体験をしていない(自然体験させられない)親が増えた影響か？

自然とのつきあい方の伝承

昔

親から子へ
子から孫へ
世代間伝承



これから

社会として伝承

格好の場が

自然観察会

自然観察ちばの試み

～子どもたちに自然体験の機会を提供するために～

① 子ども自然観察会の開催
2003年～



② 小学校自然観察支援ネットワーク
(略称SSN)
1999年～



子ども自然観察会

- ① 子育て真っ最中の若手指導員が中心となってスタート
- ② 子どもの自然体験 + 親子のふれあいの場としての効果も
子ども自然観察会 → 親子自然観察会 → 親子田んぼ教室
- ③ 子どもたちの中で自然体験の知恵を伝達
お兄ちゃん・お姉ちゃんが小さい子どもをやさしく指導
- ④ 子どもたちから学ぶことも



おにいちゃん、おねえちゃんは理想の指導者

『田んぼ教室での出来事』

稲刈りが終わって、生きもの探しをしているとカマキリを発見して、子どもたちが大はしゃぎ。すると、一番年上の女の子が、小さな子どもたちをやさしくリード

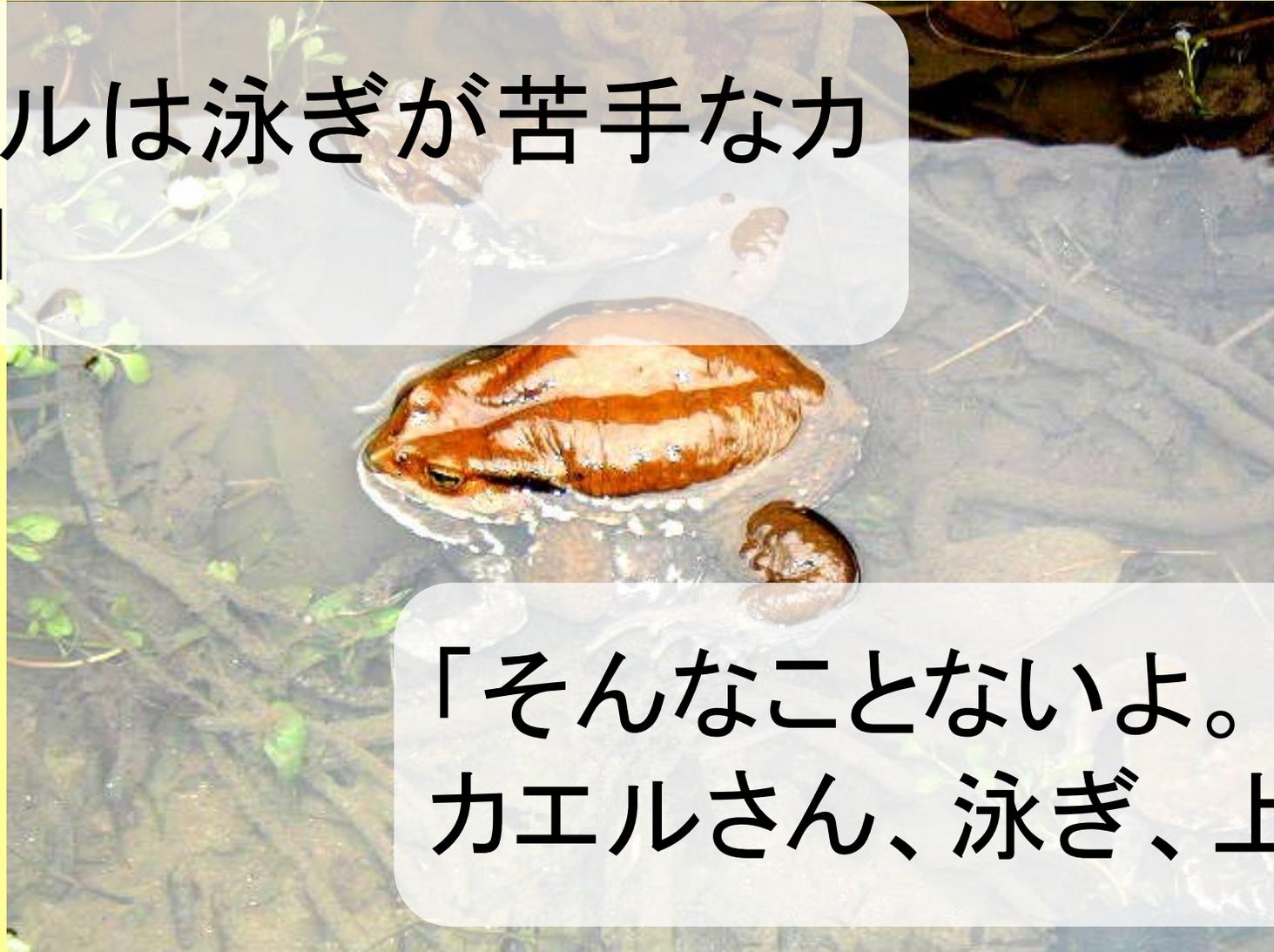
「カマキリさんは、怖がりながら手を出すと、敵だと思って攻撃してくるよ。友だちだよ、友だちだよって、そっと手を出さないといけないよ。優しくしてあげれば手の上に乗ってきてくれるからね」

「そのカマキリさん、おなかに卵を抱えているからそっとしてあげて」

私たちが伝えたいのは何ですか？

「ヒキガエルは泳ぎが苦手なカエルです」

「そんなことはないよ。
カエルさん、泳ぎ、上手だよ」



子どもに自然観察会をしてもらおう



タンポポの名前の由来は？

- ① たんぽのそばに生えているから
- ② 綿毛がきりたんぽに似ているから
- ③ 綿毛が飛んだ跡が湯たんぽに似ているから

小学校自然観察支援ネットワーク(SSN)

学校教育の中で自然観察の支援ができる人材のネットワーク

- ・支援先: 小学校、中学校、保育園 + 教職員研修
- ・授業: 生活科、理科、総合的な学習の時間など
- ・フィールド: 校庭、学校林、近隣公園、学校周辺の里山
→ 後日児童と先生が継続観察できる場所
- ・メンバー: 約100名

これまでの実績 ()内は2018年

- ・件数 1104件(57件)
- ・参加人数 延べ約66,700名(2769名)
- ・参加指導員数 延べ約5,600名(273名)



勉強会の実施

- ① 教科書の内容を知り、授業を先取りしないプログラムの作成
- ② 子どもたちをひきつけて楽しくする観察方法
- ③ 雨の日のアクティビティ
- ④ 応急手当及びリスクマネジメント



自然は学びの宝庫

子どもも 笑顔
指導員も 笑顔
みんな 笑顔

見つける 触れる
やってみる 遊ぶ



自然の
すばらしさ
不思議さ
命の大切さ



指導員のしおりとアクティビティ集 (経験の共有)

企画・打ち合わせに活用

「草の汁で名刺を作ろう」

指導上の留意点：花や葉を強く押しつけたり、こすったりするなどの方法は指導するが、できあがったサンプルは見せずに、自由に作ってもらう。

「虫の観察 森の忍者を探そう」

指導上の留意点：虫の苦手な子どももいるので、虫を忍者に見立てることで垣根を低くする。

「どんぐりと仲良くなろう」

指導上の留意事項：自分たちでどんぐりを拾って並べて、違いや変化に気づくようにする。最初から資料を見せないようにする。



自閉症児・者との自然観察

- ・こだわりが強い
- ・コミュニケーションが不得手
- ・いつものことをいつものとおりに(初めてのことが苦手)
- ・急なスケジュール変更に対応が困難

→ スケジュールの見える化
スケジュール変更は早めに周知
説明は短く分かりやすく
無理にグループに引き込まない
体験中心(こだわりを発揮)



こだわりをいかに発揮



興味の対象は様々

- 小さな小さな虫に興味を示す子ども
- ドングリをひたすら集める子ども
- 葉っぱを細かく切り刻んで楽しむ子ども
- 一心不乱に花の絵を描く子ども
- 池の中の鯉をじっくり眺める子ども
- いろんな落ち葉のにおいを楽しむ子ども

自然は何があるか分からない＝びっくり箱
見方を変えれば
自然には何かがある＝宝箱

フィールドビンゴ(見える化)

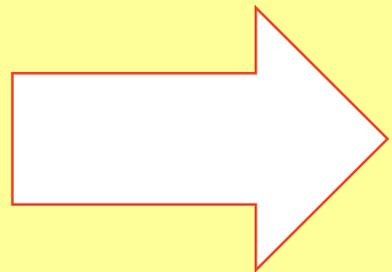


自然は多様

多様な見方ができる

多様なとらえ方ができる

多様な表現ができる



自然は、誰もが笑顔に
なれる場所

「だれひとり取りのこさない」

自然観察会を目指すために私たち指導員ができること

指導員一人一人がもう少しだけ手を広げましょう

指導員一人一人がもう少しだけまわりをよく観ましょう

指導員一人一人がもう少しだけまわりの声を聴きましょう

そして、いろんな団体、人たちとつながりを持ちましょう



そして、一人でも多くの人たちに、
すぐそばにある自然のすばらしさを
伝えましょう。

日本中、世界中に笑顔の花を咲かせましょう

